

使徒言行録と書簡：つながりを確かめる

記述を比較し、根拠を調べ、資料から確かめられることと議論が続いていることを見分けます。

ローマの信徒への手紙

使徒言行録は、パウロがエルサレムへ向かう前にギリシアにいる姿を置き、ローマの信徒への手紙の旅の計画と献金は第三次旅行のその時点に合います。

比較する

使徒言行録 20章1～3節

ローマの信徒への手紙 16章1～2、21～23節

ここから分かること

使徒言行録は、パウロがエルサレムへ向かう前にギリシアにいる姿を置き、ローマの信徒への手紙の旅の計画と献金は第三次旅行のその時点に合います。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録はローマの信徒への手紙の執筆を名指ししないため、この対応は使徒言行録と手紙を併せて読むことによる再構成です。

聖書の参照箇所

使徒言行録 20章1～3節・ローマの信徒への手紙 16章1～2節, 21-23

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第24章「ローマの信徒への手紙」：「基本情報の要約」：「成立年代」と「真正性」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

コリントの信徒への手紙一

使徒言行録が記すエフェソでの長い働きは、手紙の終わり近くに述べられる開かれた働き、反対、旅の計画に合います。

比較する

使徒言行録 19章1～20節

コリントの信徒への手紙一 16章5～12節

ここから分かること

使徒言行録が記すエフェソでの長い働きは、手紙の終わり近くに述べられる開かれた働き、反対、旅の計画に合います。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録はコリントの信徒への手紙一を引用も名指しもしないため、この結びつきは重なり合う移動と人間関係の細部にに基づきます。

聖書の参照箇所

使徒言行録 19章1～20節・コリントの信徒への手紙一 16章5～12節

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第22章「コリントの信徒への手紙一」：「背景」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

コリントの信徒への手紙二

使徒言行録はエフェソでの騒動の後にパウロをマケドニアに置き、トロアスからの移動とテトスとの再会はその移行に合います。

比較する

使徒言行録 20章1～2節

コリントの信徒への手紙二 2章12～13節；7章5～7節

ここから分かること

使徒言行録はエフェソでの騒動の後にパウロをマケドニアに置き、トロアスからの移動とテトスとの再会はその移行に合います。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録は痛みを伴う訪問や厳しい手紙を詳しく語らないため、再構成の多くは書簡のやり取り自体に頼ります。

聖書の参照箇所

使徒言行録 20章1～2節・コリントの信徒への手紙二 2章12～13節; 7:5-7

出典

- An Introduction to the New Testament
Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第23章「コリントの信徒への手紙二」：「基本情報の要約」：「成立年代」と「真正性」
- Paul: A Critical Life
Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」
- パウロ書簡
ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。
- 使徒言行録
使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。
- Pauline Letters 年代記
本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

ガラテヤの信徒への手紙

早い再構成は、手紙を第一回旅行の後、アンティオキアでの論争と使徒言行録13～15章をめぐる割礼の危機の近くに読みます。

比較する

使徒言行録 13章13～14章23節；15章1～35節	ガラテヤの信徒への手紙 1章11～2章14節
-----------------------------	------------------------

ここから分かること

早い再構成は、手紙を第一回旅行の後、アンティオキアでの論争と使徒言行録13～15章をめぐる割礼の危機の近くに読みます。

この箇所は、ここで示す再構成に関わる研究上の論点を示します。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

ガラテヤの信徒への手紙2章と使徒言行録に語られるエルサレム訪問をどう結びつけるかは争われています。使徒言行録はこの手紙を名指しせず、成立年代も示しません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 13章13節 – 使徒言行録 14章23節; 15:1–35 · ガラテヤの信徒への手紙 1章11節 – ガラテヤの信徒への手紙 2章14節

出典

- The Epistle to the Galatians (NIGTC)

F. F. Bruce, The Epistle to the Galatians: A Commentary on the Greek Text, NIGTC (Eerdmans, 1982)。南ガラテヤ説と早期年代説の最も充実した現代の論証。 — 序論 II.3 「南ガラテヤ仮説」；V 「成立年代と関連する問題」

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997)。 — 第19章 「ガラテヤの信徒への手紙」：「宛先と成立時期はいつか」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996)。 — 第1章 「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

エフェソの信徒への手紙

ローマでの拘禁は、使徒言行録の終わりと比較するための伝統的な接点です。ティキコの名は、エフェソの信徒への手紙とコロサイの信徒への手紙のつながりを示す手がかりです。

比較する

使徒言行録 28章16～31節

エフェソの信徒への手紙 3章1節；6章20～22節

ここから分かること

ローマでの拘禁は、使徒言行録の終わりと比較するための伝統的な接点です。ティキコの名は、エフェソの信徒への手紙とコロサイの信徒への手紙のつながりを示す手がかりです。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録はエフェソの信徒への手紙を名指しせず、著者、受取人、配達経路も特定しません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 28章16～31節・エフェソの信徒への手紙 3章1節; 6:20-22

出典

- Paul: A Critical Life
Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」
- パウロ書簡
ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。
- 使徒言行録
使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。
- Pauline Letters 年代記
本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

フィリピの信徒への手紙

使徒言行録はフィリピ教会の設立を記し、後にはパウロのローマでの拘禁に達します。この二つが伝統的な読み方を枠づけます。

比較する

使徒言行録 16章11～40節；28章16～31節

フィリピの信徒への手紙 1章12～14節；4章22節

ここから分かること

使徒言行録はフィリピ教会の設立を記し、後にはパウロのローマでの拘禁に達します。この二つが伝統的な読み方を枠づけます。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録はフィリピの信徒への手紙がどこで、いつ書かれたかを述べません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 16章11～40節; 28:16–31・フィリピの信徒への手紙 1章12～14節; 4:22

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第20章「フィリピの信徒への手紙」：「どこから、いつ書かれたか」
- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」
- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。
- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。
- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

コロサイの信徒への手紙

伝統的なローマの状況は、使徒言行録が語る自宅軟禁の後に置かれ、フィレモンへの手紙との重なる人のつながりによって補強されます。

比較する

使徒言行録 28章16～31節

コロサイの信徒への手紙 4章3、7～18節

ここから分かること

伝統的なローマの状況は、使徒言行録が語る自宅軟禁の後に置かれ、フィレモンへの手紙との重なる人のつながりによって補強されます。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録はコロサイの信徒への手紙の執筆を報告せず、この手紙がどのように受取人へ届けられたかも説明しません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 28章16～31節・コロサイの信徒への手紙 4章3節, 7–18

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第27章「コロサイの信徒への手紙」：「どこから、いつ書かれたか」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

テサロニケの信徒への手紙一

使徒言行録はテサロニケでの宣教とパウロのコリント滞在を記し、テサロニケの信徒への手紙一はテモテが教会から知らせを携えて戻ったことを名指します。

比較する

ここから分かること

使徒言行録はテサロニケでの宣教とパウロのコリント滞在を記し、テサロニケの信徒への手紙一はテモテが教会から知らせを携えて戻ったことを名指します。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録は手紙の年代を示さず、往復書簡に出るすべての移動を描いていません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 17章1～9節; 18:1-11・テサロニケの信徒への手紙一 3章1～6節

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第18章「テサロニケの信徒への手紙一」：「背景」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

テサロニケの信徒への手紙二

伝統的な読み方は、テサロニケの信徒への手紙二を、使徒言行録が語り、テサロニケの信徒への手紙一と結びつけられる同じテサロニケからコリントへの移動に置きます。

比較する

使徒言行録 17章1～9節；18章1～11節

テサロニケの信徒への手紙二 1章1節；3章17節

ここから分かること

伝統的な読み方は、テサロニケの信徒への手紙二を、使徒言行録が語り、テサロニケの信徒への手紙一と結びつけられる同じテサロニケからコリントへの移動に置きます。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録はこの手紙を名指しせず、この対応はパウロ本人による著作を受け入れることにかかっています。

聖書の参照箇所

使徒言行録 17章1～9節; 18:1-11・テサロニケの信徒への手紙二 1章1節; 3:17

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第26章「テサロニケの信徒への手紙二」：「基本情報の要約」／「成立年代」；第26章「テサロニケの信徒への手紙二」：「基本情報の要約」／「差出地」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

テモテへの手紙一

提案された状況は使徒言行録の最終場面の後に来るため、釈放と後の旅行を再構成することに依存します。

比較する

使徒言行録 28章30～31節

テモテへの手紙一 1章3～4節

ここから分かること

提案された状況は使徒言行録の最終場面の後に来るため、釈放と後の旅行を再構成することに依存します。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録は境界を示します。伝統的な読み方が想定するマケドニアからエフェソへの旅程を証言していません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 28章30～31節・テモテへの手紙一 1章3～4節

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第30章「牧会書簡：テモテへの手紙一」：「テトスへの手紙とテモテへの手紙一を誰が書いたのか」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

テモテへの手紙二

使徒言行録はより早いローマでの自宅軟禁で終わるため、最後の拘禁という状況は物語の外にあり、伝統的再構成です。

比較する

使徒言行録 28章30～31節

テモテへの手紙二 1章8、15～17節；2章9節；4章6～18節

ここから分かること

使徒言行録はより早いローマでの自宅軟禁で終わるため、最後の拘禁という状況は物語の外にあり、伝統的再構成です。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録の後の空白が決定的です。この物語は、想定される後の投獄を直接確認できません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 28章30～31節・テモテへの手紙二 1章8節, 15-17; 2:9; 4:6-18

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第31章「牧会書簡：テモテへの手紙二」：「テモテへの手紙二と牧会書簡に関する可能性」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

テトスへの手紙

提案されたクレタとニコポリスの旅程は使徒言行録の終わりの後に来るため、その旅行記に語られる出来事として読むことはできません。

比較する

使徒言行録 28章30～31節

テトスへの手紙 1章5節；3章12節

ここから分かること

提案されたクレタとニコポリスの旅程は使徒言行録の終わりの後に来るため、その旅行記に語られる出来事として読むことはできません。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録は、パウロがテトスをクレタに残したことも、ニコポリスで越冬したことも直接には証言しません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 28章30～31節・テトスへの手紙 1章5節; 3:12

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第29章「牧会書簡：テトスへの手紙」：「背景（テトスへの手紙）」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

フィレモンへの手紙

使徒言行録のローマでの自宅軟禁は伝統的な物語の状況を与え、コロサイの信徒への手紙の重なる名前は共有された拘禁をありうるものにします。

比較する

使徒言行録 28章16～31節

フィレモンへの手紙 1章1、9～10、22～24節

ここから分かること

使徒言行録のローマでの自宅軟禁は伝統的な物語の状況を与え、コロサイの信徒への手紙の重なる名前は共有された拘禁をありうるものにします。

この箇所は、関連する研究上の見解を概観します。

この箇所は、ここでの結論を慎重に評価するための研究上の論点を示します。

ここからは確定できないこと

使徒言行録はフィレモン、オネシモ、または手紙の発送に触れません。

聖書の参照箇所

使徒言行録 28章16～31節・フィレモンへの手紙 1章1節, 9-10, 22-24

出典

- An Introduction to the New Testament

Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997). — 第21章「フィレモンへの手紙」：「どこから、いつ書かれたか」

- Paul: A Critical Life

Jerome Murphy-O'Connor, Paul: A Critical Life (Oxford University Press, 1996). — 第1章「年代枠組み」：「パウロ書簡からの証拠」と「使徒言行録からの証拠」

- パウロ書簡

ローマの信徒への手紙からフィレモンへの手紙まで、『聖書 聖書協会共同訳』©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- 使徒言行録

使徒言行録7～28章、『聖書 聖書協会共同訳』 ©2018日本聖書協会。引用本文には、本プロジェクトのCC BY 4.0ライセンスは適用されません。引用と利用の条件については、日本聖書協会の案内をご確認ください。

- Pauline Letters 年代記

本プロジェクトの67行からなる年代記。使徒言行録と各書簡を相互参照し、議論のある年代を明示している。

ダウンロードした教材はインターネットに接続せずに使えます。外部の出典リンクを開くには接続が必要です。

<https://paulineletters.com/ja/explore/resources/acts-and-letters>

© Pauline Letters · CC BY 4.0 · MIT

ダウンロードできる体験型教材の独自コードはMITライセンスで提供します。本文と画像には、それぞれ表示された再利用条件が適用されます。

▶ 再利用の条件